

世と教界を見る目を養う(23)

＝いのちの水の流れ＝

聖書:エゼキエル47章

- (1) 水源:神殿の敷居の下→礎石(＝イエス)から流れる(マタイ21:42;1コリント10:4;ヨハネ7:38)
- (2) 流れの方向:外へ向かって東の方へ(創世記2:8)→神の栄光が世界へ
- (3) 水源の位置:祭壇の南側→南壁の下→南壁から流れる(ヨハネ19:34)
仮説:主は東に向かって十字架に付けられると刺された右のわき腹は南側となる
- (4) 水深:1千キュビットごとに段々深くなり、最後には川になる→遠く離れるほど水かさが増す
- (5) 川岸の様子:多くの木が生える(cf.黙示録22:2の木は単数形)
- (6) 川の水の性質:汚れた物をきれいにする;流れによって生き返る;漁師が網を干す;魚の種類が増える→福音伝道の光景(マタイ13:47,48)
- (7) 沢と沼:きれいにならず塩を取る→教会の実際の光景
- (8) 月ごとの実:実は食用、葉は薬用(cf.黙示録22章)→いのちの養いと癒し
- (9) バビロンは宗教、神の国はいのち！